

# ふるさとの会 越年冬祭りのご報告

## 2017-2018年 炊き出し・イベントのご報告



ふるさとの会では炊き出し等の応急援助に留まらず、「住み慣れた地域で最期まで」をスローガンに継続的なサポートを行っています。低所得の高齢者や障害者が住み慣れた地域で暮らし続けるのは依然として困難な状況にあります。支援付き住宅と生活支援の制度化の働きかけを続けるとともに、一人でも多くの方が地域で安心した生活を送ることができるよう、今後も活動を続けていきたいと思っております。

### 「支え合いを支える」年末イベント

炊き出しと並行して、地域ごとの「鍋会」や「初詣」等の様々なイベントを実施しました。地域のアパートや支援付き住宅で生活している方々がつながり、皆の「支え合いを支える」きっかけの場となればと考えております。今年、14の事業所で計16回のイベントを実施し、多くの方に楽しんでいただく事ができました。

ふるさとの会では年末年始の6日間（12月29日～1月3日）、隅田川周辺で路上生活を送る方々にむけた炊き出しを行い、859名に1,789食を提供することができました。あわせて、カンパ物資の提供、訪問看護ステーションコスモス様による医療相談会も実施しました。

炊き出しの調理の合間には山谷地域や事業所の見学会を実施。地域での安心した暮らしにむけての支援の実践や生活支援で重んじている点などふるさとの会の活動を報告をいたしました。

皆さまからの現金や調理具材のカンパに加え、120名ものボランティアの参加をいただき、越年事業を無事に終了することができました。ご支援ありがとうございました。



↑三富製作所での炊き出し調理風景  
←隅田川河川敷での炊き出しの列

日付	メニュー	人数	食数	ボランティア
12/29	カレー	110名	233食	24名
12/30	親子丼	156名	327食	17名
12/31	豚丼	143名	315食	22名
1/1	カレー	126名	256食	20名
1/2	開化丼	139名	293食	18名
1/3	カレー	185名	365食	19名
計		859名	1,789食	120名

<下落合館> クリスマス会	<GH新宿> クリスマス会	<地域生活支援 Cすみだ> クリスマス会	<サロン> クリスマス会	<東駒形荘> 鍋会、初詣・ビ ンゴ大会	<せせらぎ館> 鍋会・初詣	<寿々喜屋> 鍋会
<はるかぜ> クリスマス会	<地域生活支 援C台東> 新春の集い	<日の出館> クリスマス会 鍋会	<旅館朝日館> 鍋会	<あさひ館> クリスマス会	<清川荘> 鍋会	<2丁目ハウス > 鍋会

## 収支のご報告（2017-18越年冬まつり）

（収入）	
寄付金	450,000
450,000	
（支出）	
食材費	256,950
その他消耗品	27,708
保険・車両代等	51,230
335,888	
差額（繰越金）	114,112

・毎日新聞東京社会福祉事業団歳末助け合い基金  
(<https://www.mainichi.co.jp/shakaijigyo/kifu.html>)  
毎年のご支援に感謝を申し上げます。

・米、味噌、野菜、インスタントコーヒー、鍋の素、調味料などのご寄付を多くの皆様よりいただきました。

**皆様よりいただきましたご寄付の繰越金は、引き続き年明け以降の互助イベントに活用させていただきます。**

## まちカフェふるさと閉所のご報告

「まちカフェふるさと」は「お年寄りや障害の方、若年失業者等が、地域で孤立せず、安心して暮らせる地域を作ってゆく」ことを目的に、平成25年開所以来4年余にわたり運営してまいりましたが、2017年12月20日をもちまして閉所いたすこととなりました。

### 【活動実績】

- ボランティアによる運営：社協のボランティアセンターと連携し、まちカフェフォーラムの様子(メルマガ114号より)  
地域の高齢者や引きこもり経験のある若者等がカフェのスタッフとしてボランティアで参加してきました。地域のなかで役割をもち、支援される側から、する側への転換を支援してきました。
- 介護者支援のサロン：新宿区高齢者福祉課が支援する介護者の家族会「大久保あったかい」のサロンとして3年以上にわたって会場を提供してきました。地域の介護者同士の横のつながりが広がりました。
- まちカフェフォーラムの実施：認知症サポーター養成講座、熱中症対策など暮らしに役立つ学習会を毎月開催し、延べ48回のフォーラムを開催してきました。

### 【事業の成果】

民間で独自に設置した常設型のサロンとして多くの方が視察に訪れ、地域共生型社会のモデル、都市型の地域包括ケアモデルとしてとして取り上げられました。こうした取り組みを政策提言し、空き家活用と住民同士の支え合いをモデルとした事業づくり（地域善隣事業）にも寄与できました。民間が先行的にモデル事業を実施し、普遍性を持つ政策として制度化されてゆく筋道がついたことで、「まちカフェふるさと」は一定の役割を終えたと判断し、この実践で培ったノウハウや経験を、今後は社会へ広く情報発信してゆきたいと思っております。

## ご寄付の方法

### ■郵便振替

口座番号：00110-9-513732

名義：NPO法人自立支援センターふるさとの会

（ご寄付の用途を指定される場合は、通信欄にその旨をご記入ください）

### ■オンライン寄付サイト「GiveOne（ギブワン）」

<http://www.giveone.net/cp/pg/CtrlPage.aspx?ctr=nm&nmk=10009>

ご寄付は以下の用途にて使用させていただきます。

- ①互助イベントの費用
- ②がん基金（がん療養中の方が日常生活で要する物品購入、外出イベントの開催）
- ③越年冬祭り（炊き出し・鍋会の費用）
- ④生活再建相談センター（就労支援の相談窓口）

## <お問合せ>

特定非営利活動法人 自立支援センターふるさとの会 事務局

〒111-0031 東京都台東区千束4-39-6-4F

TEL：03-3876-8150

